2026年10月15日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,085万kW
14時30分、100,849 MW
（10エリア同時刻合計）

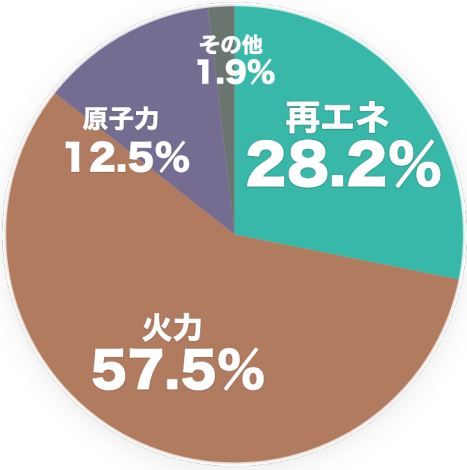
☀ 太陽光ピーク
4,904万kW
11時30分、49,040 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
343万kW
0時、3,429 MW

◇ 再エネ最大需要比
59.9%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
75.2 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
65.8 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 55.4%

43.9 GWh

出力抑制量

6.6 GWh

最大: 中国 3.0 GWh

揚水・蓄電の充電

59.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:00に3,243万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで55.4%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**28.2%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**605 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,149 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**59.9%**	12時
出力抑制量	**6.6 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**59.6 GWh**	発電構成比には含めない

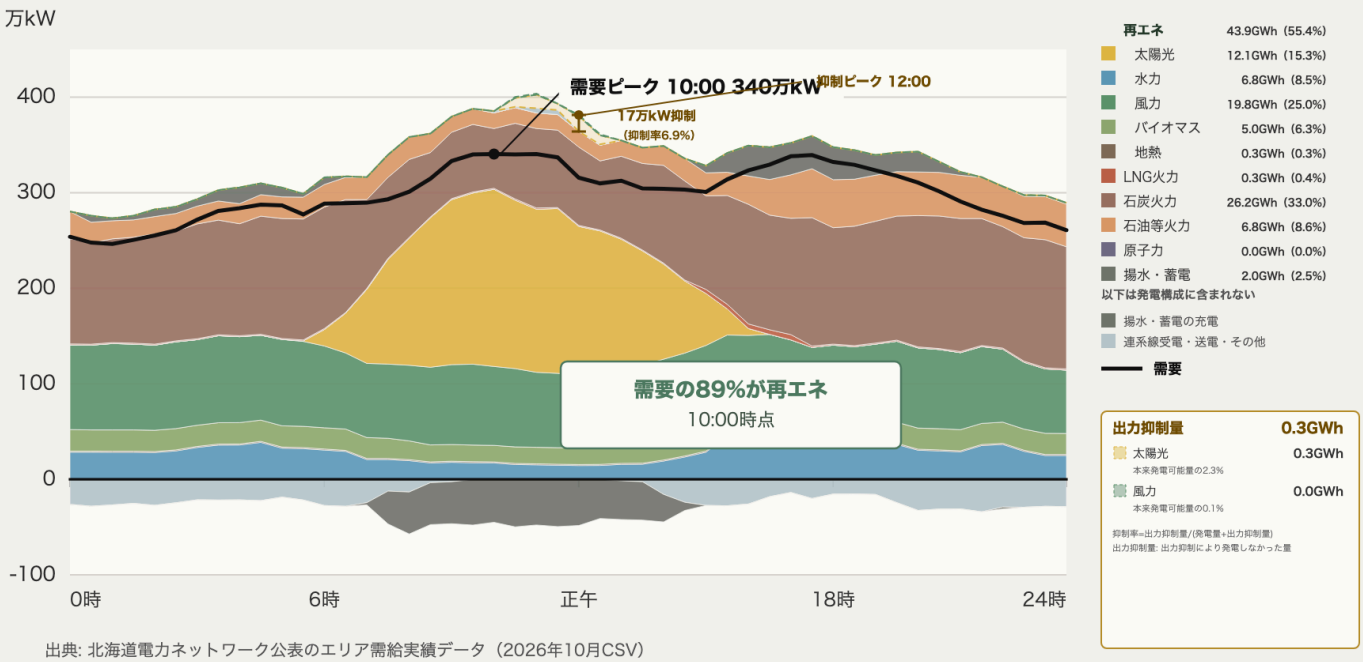
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**55.4%**	**43.9**	**0.3**	**送電 4.4**
東北	**41.3%**	**108**	**2.5**	**送電 65.8**
東京	**18.9%**	**116**	**0.0**	**受電 75.2**
中部	**36.7%**	**103**	**0.0**	**受電 61.8**
北陸	**27.7%**	**21.1**	**0.0**	**送電 9.5**
関西	**20.2%**	**65.5**	**0.0**	**受電 23.5**
中国	**26.0%**	**42.1**	**3.0**	**送電 16.8**
四国	**28.9%**	**25.4**	**0.4**	**送電 26.8**
九州	**32.0%**	**75.5**	**0.5**	**送電 19.2**
沖縄	**13.9%**	**3.3**	**0.0**	—

2026年10月15日の供給実績

北海道エリア

再エネ
44.0GWh
（発電電力量ベース55.4%）

北海道エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.3GWh

需要ピーク
10:00、340万kW

連系線・その他
4.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.1GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

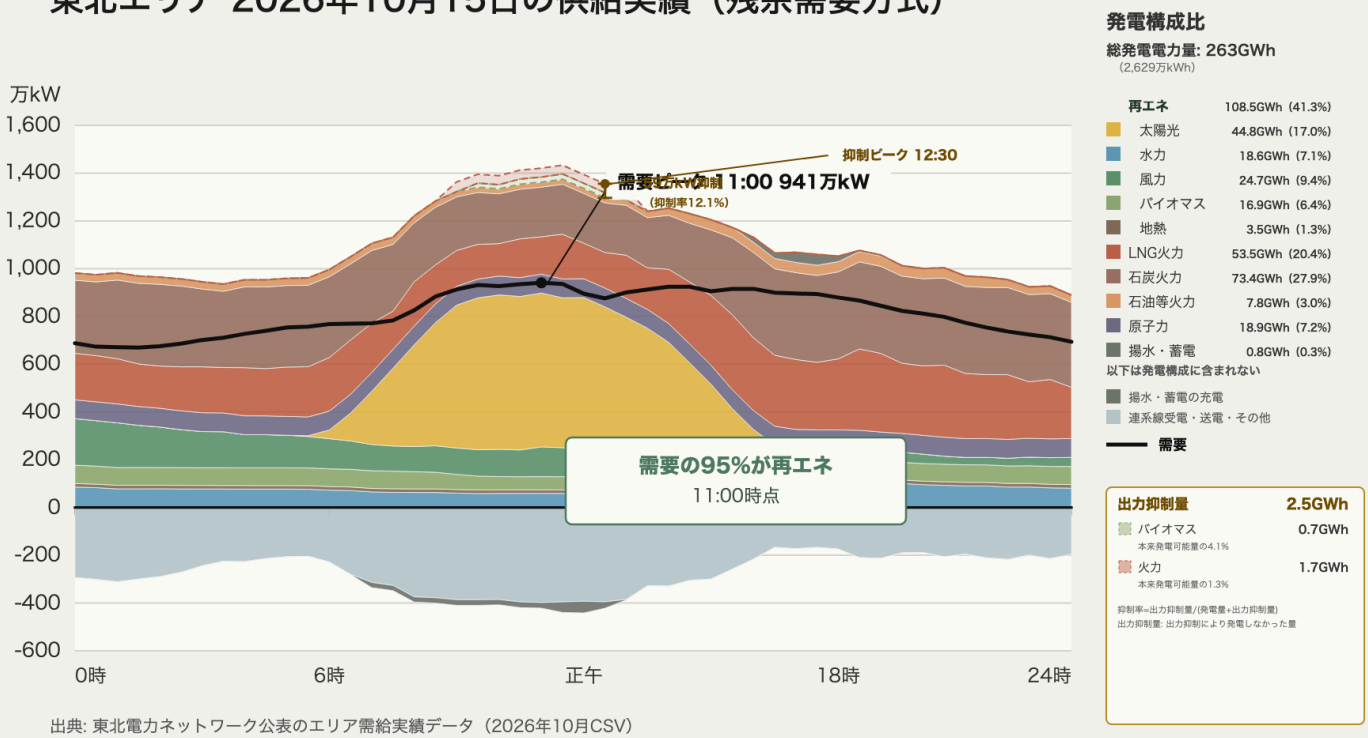
北海道は、太陽光ピーク185万kW、風力ピーク91万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.2%だった。

2026年10月15日の供給実績

東北エリア

再エネ
108.5GWh
（発電電力量ベース41.3%）

東北エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
262.9GWh

需要ピーク
11:00、941万kW

連系線・その他
65.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.7GWh

出力抑制
2.5GWh

概況

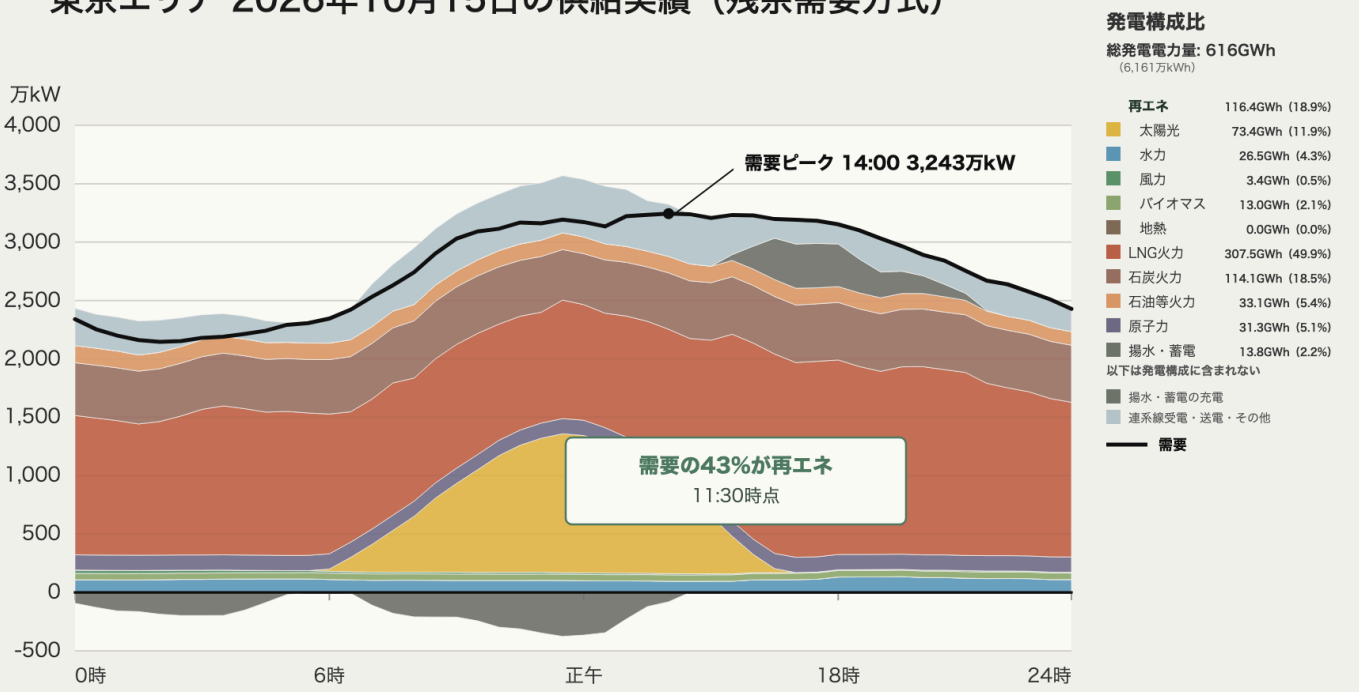
東北は、太陽光ピーク646万kW、風力ピーク195万kWで、時間別の再エネ最大需要比は98.2%だった。

2026年10月15日の供給実績

東京エリア

再エネ
116.4GWh
（発電電力量ベース18.9%）

東京エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
616.1GWh

需要ピーク
14:00、3,243万kW

連系線・その他
75.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
26.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

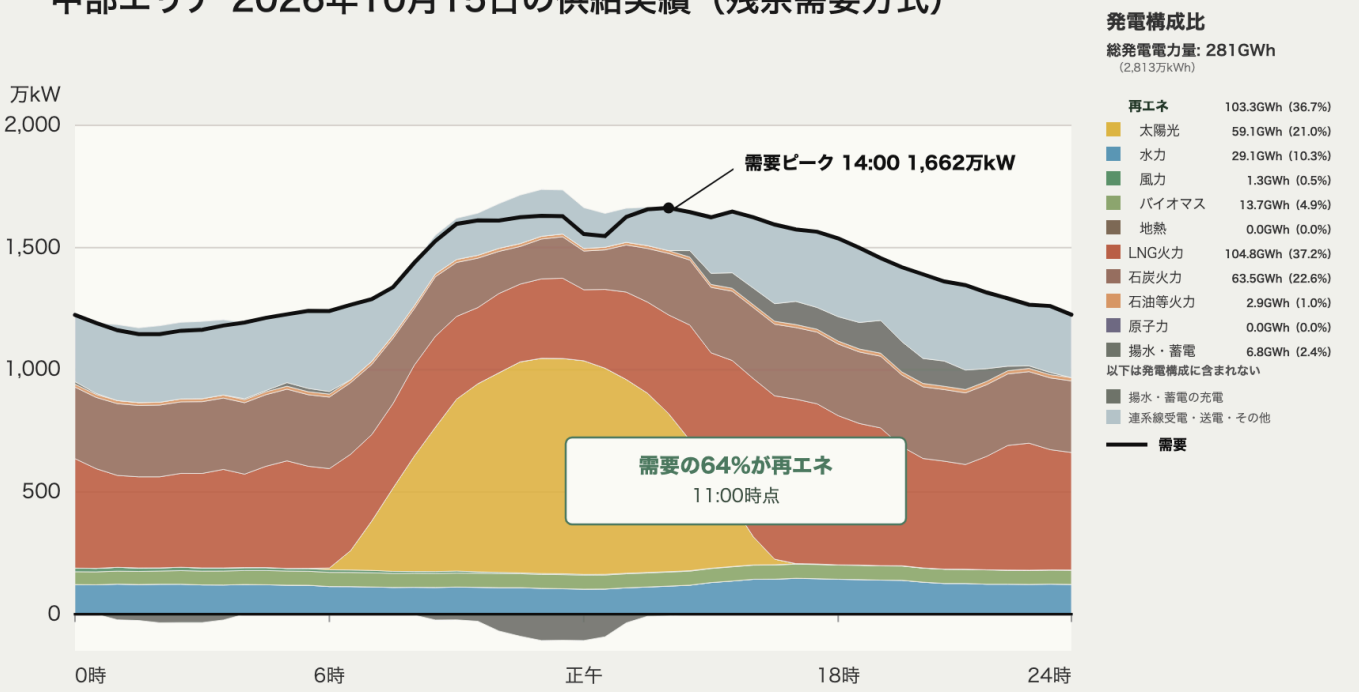
東京は、太陽光ピーク1,190万kW、風力ピーク29万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.6%だった。

2026年10月15日の供給実績

中部エリア

再エネ
103.3GWh
（発電電力量ベース36.7%）

中部エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
281.3GWh

需要ピーク
14:00、1,662万kW

連系線・その他
61.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

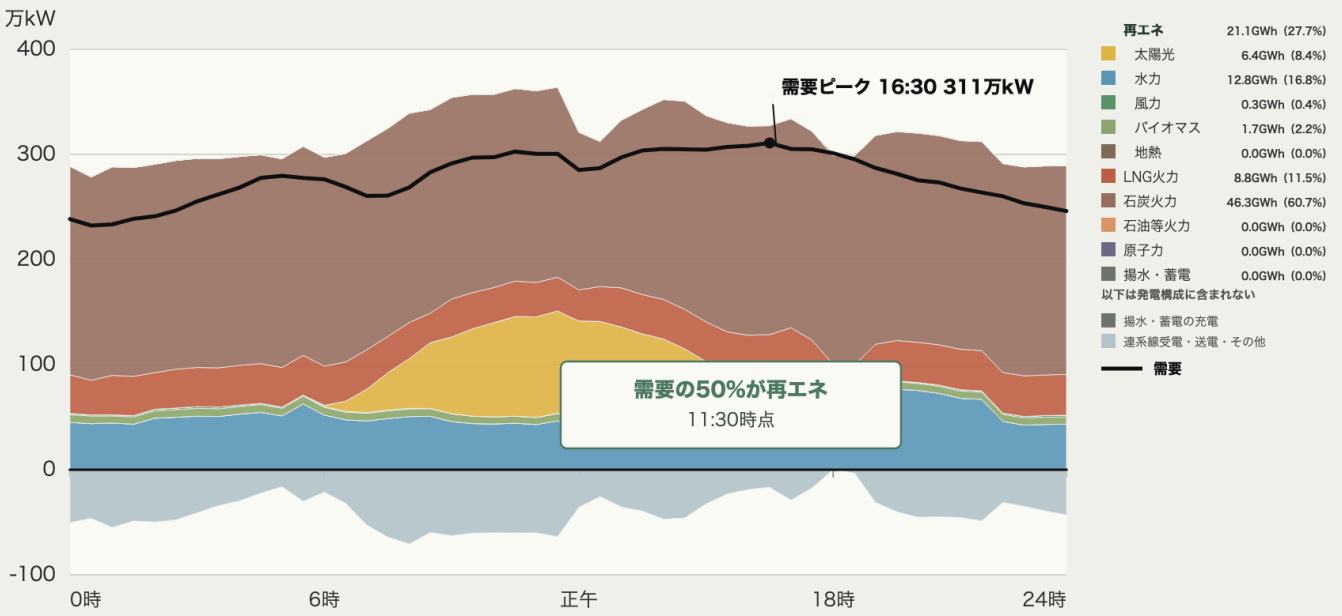
中部は、太陽光ピーク881万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.7%だった。

2026年10月15日の供給実績

北陸エリア

再エネ
21.1GWh
（発電電力量ベース27.7%）

北陸エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.2GWh

需要ピーク
16:30、311万kW

連系線・その他
9.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

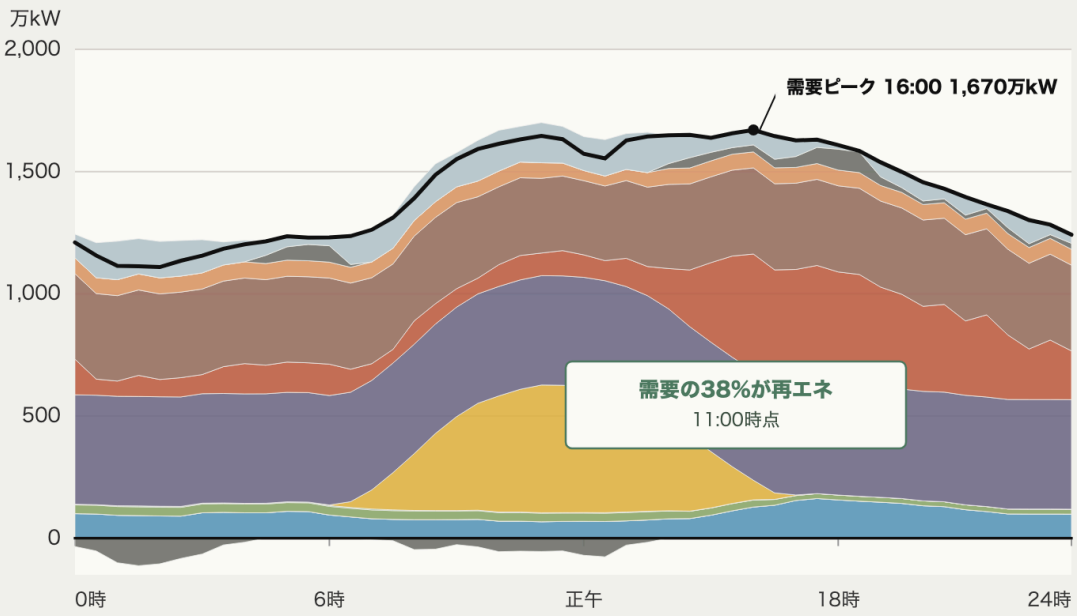
北陸は、太陽光ピーク97万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.3%だった。

2026年10月15日の供給実績

関西エリア

再エネ
65.5GWh
（発電電力量ベース20.2%）

関西エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 324GWh
（3,236万kWh）

再エネ	65.5GWh (20.2%)
太陽光	33.8GWh (10.4%)
水力	24.1GWh (7.5%)
風力	0.4GWh (0.1%)
バイオマス	7.2GWh (2.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	48.4GWh (14.9%)
石炭火力	82.6GWh (25.5%)
石油等火力	15.1GWh (4.7%)
原子力	107.5GWh (33.2%)
揚水・蓄電	4.5GWh (1.4%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
323.6GWh

需要ピーク
16:00、1,670万kW

連系線・その他
23.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

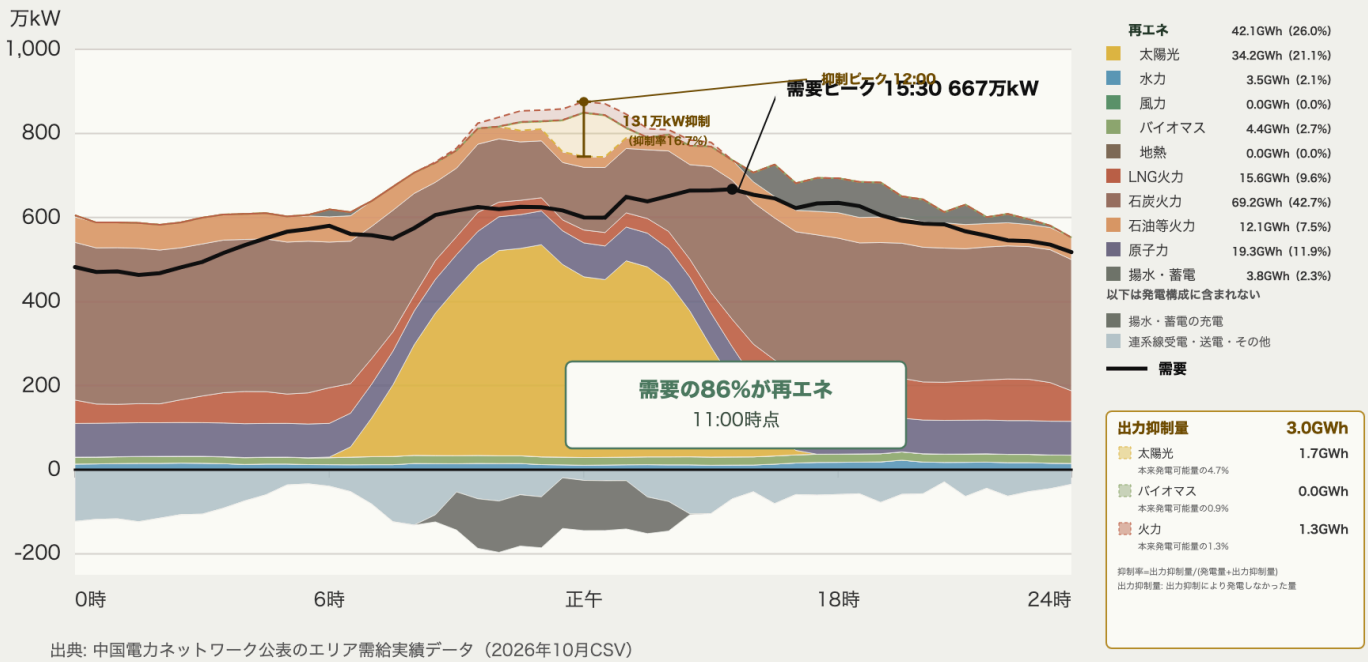
関西は、太陽光ピーク522万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.4%だった。

2026年10月15日の供給実績

中国エリア

再エネ
42.0GWh
（発電電力量ベース26.0%）

中国エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
162.0GWh

需要ピーク
15:30、667万kW

連系線・その他
16.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.1GWh

出力抑制
3.0GWh

概況

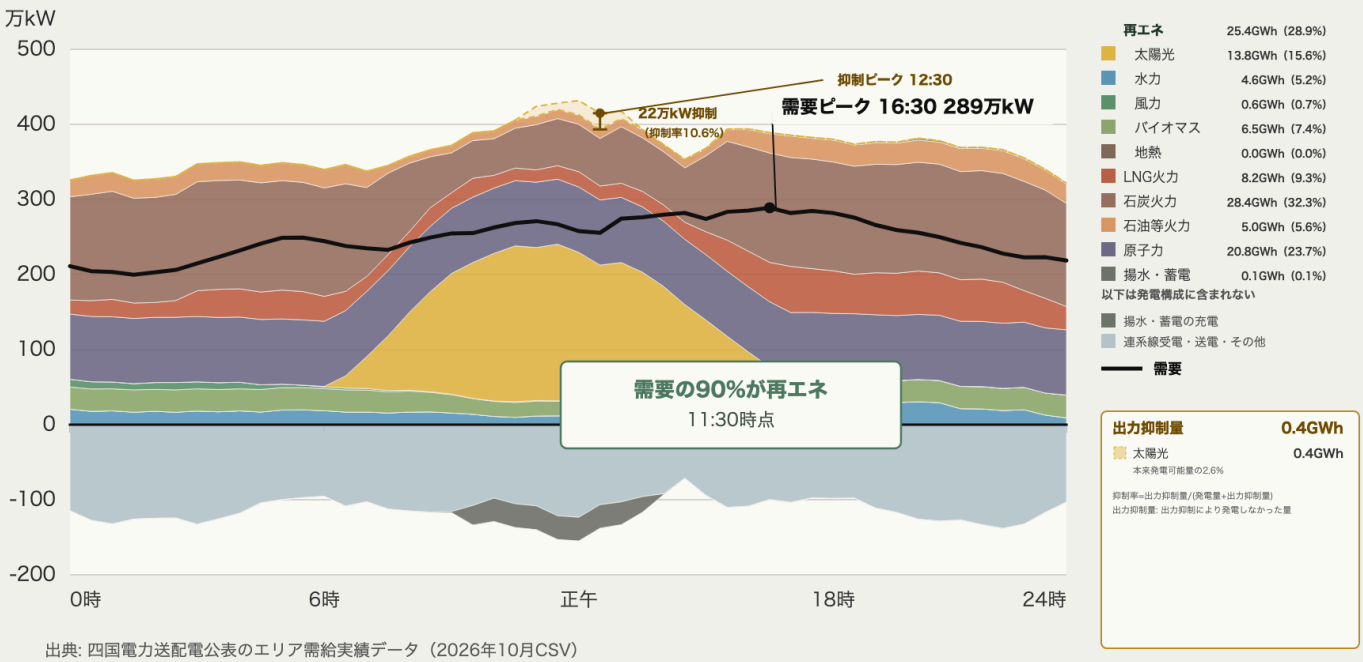
中国は、太陽光ピーク505万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は85.7%だった。

2026年10月15日の供給実績

四国エリア

再エネ
25.4GWh
（発電電力量ベース28.9%）

四国エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
87.9GWh

需要ピーク
16:30、289万kW

連系線・その他
26.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.3GWh

出力抑制
0.4GWh

概況

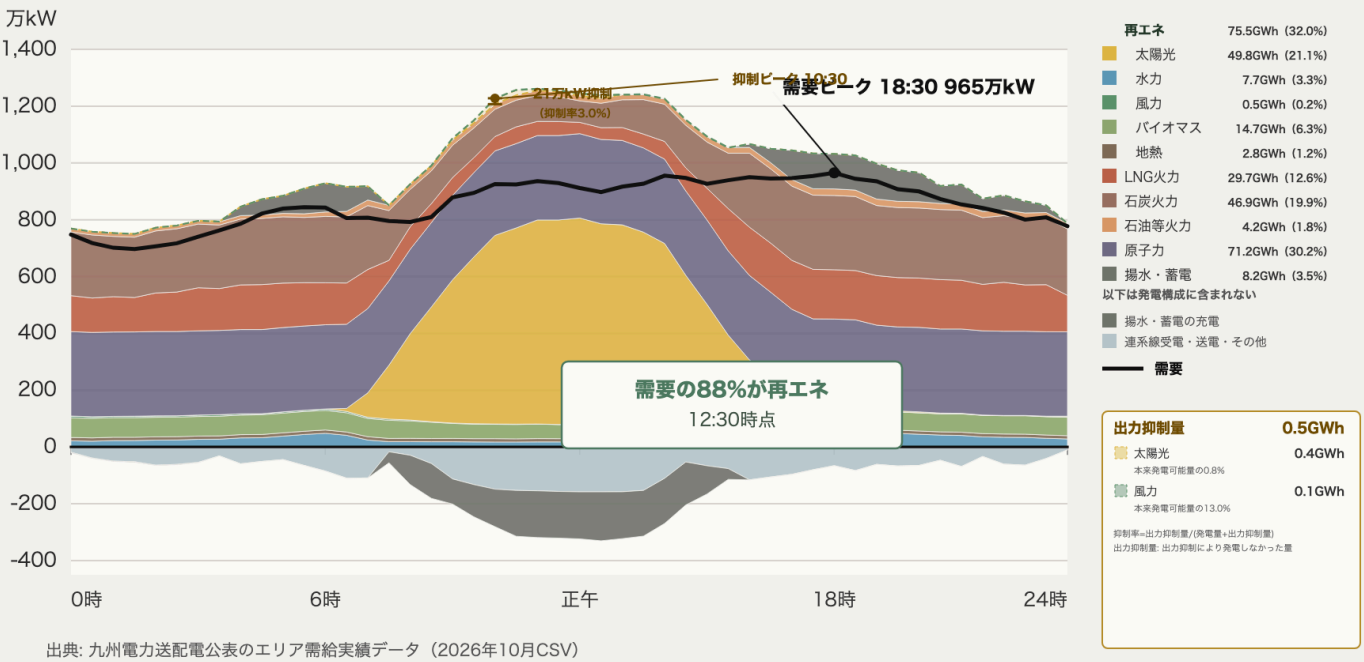
四国は、太陽光ピーク209万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.0%だった。

2026年10月15日の供給実績

九州エリア

再エネ
75.5GWh
（発電電力量ベース32.0%）

九州エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
235.8GWh

需要ピーク
18:30、965万kW

連系線・その他
19.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
11.0GWh

出力抑制
0.5GWh

概況

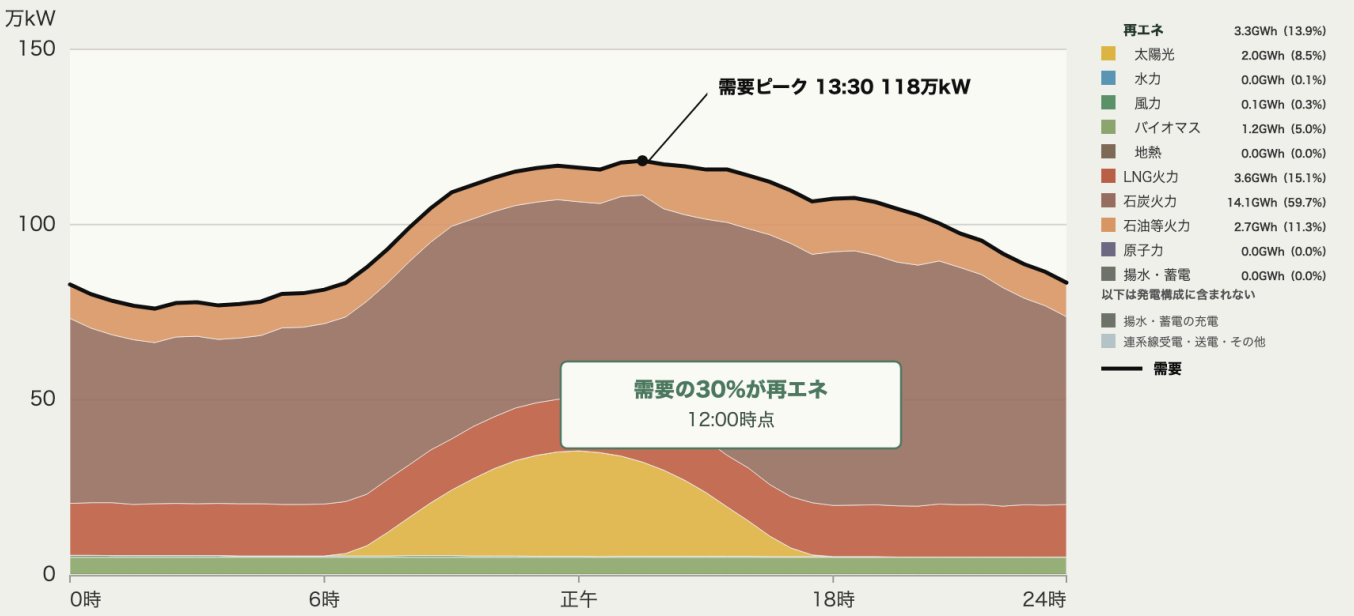
九州は、太陽光ピーク728万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.4%だった。

2026年10月15日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.3GWh
（発電電力量ベース13.9%）

沖縄エリア 2026年10月15日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
23.6GWh

需要ピーク
13:30、118万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク30万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.5%だった。